

事業所向け児童発達支援自己評価表

公表：令和 6年 2月29日

アンケート期間：令和 6年 1月 23日～令和6年 1月 27日

事業所名 児童発達支援事業所 ハビステ伊集院

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・構造化をした。 ・人数に応じて、個室かパーティションを使っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・規定人数より多めに十分に配置できている
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・段差があり、改善が必要な所はあるが、今の所車いす利用児はなし。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・毎日支援の振り返りを実施している。 ・スクリーニングや個別支援計画を基に支援を行っている。
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・ケース会議をし、保護者のニーズを職員間で共有している。 ・ご意見箱を設置した。活用できるように促していきたい。
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・SNSを活用して公開する予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・未実施。検討中。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・業務の時間の合間を見て行っている。 ・外部の研修に参加し、共有している。	
適切 な 支 援 の 提 示	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・標準化された検査を用いて評価を行い、それを基に個別支援の作成を行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・標準化された評価を使用して、特性把握に努めている。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・ガイドラインから項目を選択し、支援内容を設定している。
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・個別支援計画を確認して活動内容を考えている。
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・月一回職員間で話し合い、次月の活動を全員で考えている。
14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・固定化されないように職員が交代制で活動プログラムを立案している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
供	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・個別と集団の活動を組み合わせて、それぞれ評価を実施し、結果に応じて児童発達支援計画を作成している。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援前に支援に入らない者も一緒に確認を行い不足部分や危険個所があれば支援内容の変更も臨機応変に行っている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・当日中に実施している。 できない時は翌日行い、必ず記録に残している。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・活動後は活動内容を連絡メールにて保護者へ伝達し情報共有している。またケース記録を記載している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的に事後評価を実施し、児童発達支援計画の妥当性を検証している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			※前年度と同じ
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・担当保健師や他事業所と連携をとり支援を行っている。 ・母子手帳の写しを必要に応じてもらっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・現在利用児に医療的ケアが必要な方はいないが、受け入れた際は関係機関と連携をとり支援を行うようになっている。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・現在利用児に医療的ケアが必要な方はいないが、受け入れた際は関係機関と連携をとり支援を行うようになっている。
	関係 機関 や 保 護 者 と の 連 携	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
25		小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・移行支援シートを作成し就学先と渡している。また就学相談にも参加し、教育委員会とも情報共有を行っている。
26		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・他事業所と情報共有をしながら支援を行っている。センターが行う公開療育に参加した。
27		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある（自立支援）協議会子ども部会や地域の			○	・可能な所には、職員が行事等見学に行っていた。
28		子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・児童発達管理責任者が参加している。
29		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・活動内容を日々連絡帳で報告し、必要な時に面談を行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			・SNSを通じて自宅でもできる取り組みを発信し、ペアレントトレーニングを支援している。
	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・一人一人の保護者に丁寧に説明を行っている。
	32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・児童発達支援計画を見ながら説明を行い同意を得ている。
	33 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・メール、電話、LINEや必要に応じて面談を行っている。
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在、保護者会等は行っていないが、保護者のニーズを聞き取り必要性に応じて計画していきたい。
	35 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・相談は随時受け付けており、メールや電話で返答しているだけでなく面談を設置するなど対応している。
	36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月活動予定表を保護者に配っている。 ・インスタグラムを通じて活動内容を発信している。
	37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報の漏洩に十分配慮している。鍵付きロッカーで保存している。
	38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・業務連絡などメールにて行っている。様々なアプローチを行っている。
非常時等の対応	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・SNSで発信したり自治会との交流も考慮していきたい。
	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・年に2回防災訓練を行う。また、職員にはマニュアル周知済み。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・防災訓練を定期的に行っている。
	42 事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・母子手帳のコピーや診断書の提出をお願いしている。
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・小麦粉粘土を活動で行うこともあるので、面談で一人一人確認を行っている。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・その都度ケース会議を行っている。また、再発防止策も考え、共有している。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・入職時に虐待防止マニュアルの研修を行っている。
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・道路への飛び出しや突発的な行動を予測し入口ドアの施錠許可を保護者に得ている。